

平成 30 年 3 月 8 日

足立区立加平小学校
学校長 金泉 隆一 様

足立区立加平小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 種部 一実

平成 29 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

各重点目標に継続性があり、この一年間の目標達成に向けて、達成基準、具体的な方策、実施結果、コメント、課題、達成度と、しっかり分析され解り易く纏めて頂いた自己評価書だと思います。

限られた人員・時間の中で、各取組事項を実施し成果を上げる事は、大変なご苦労があったと思います。学校長のもと教職員の熱心なご指導により、目標(取組)の達成度が、「◎:十分に達成」が多い事は、大変高い評価になると思います。

新校舎へ移転して4年目となり、児童数も毎年増加している中でも、学校経営計画を前年度より高い目標を掲げ、今年度も各事項の達成の為に必要な措置を講じ問題なく運営されている事は、教職員の並々ならぬ努力があったからだと思います。次年度においても、「笑顔輝く加平小学校」を期待しております。

評価書の書式を変更するのは無理だとは思いますが、協議会委員の年齢層が高い為、細かい文字が読みにくい事もあるので、補足資料等で数値のグラフ(表)化や前年対比等があるとより分かり易いと思います。

2. 学校から提示された「課題」や「達成度」について

重点的な取組事項ー1 学力向上

本年度も、「基礎的基本的な学力の定着」「教員の授業力向上」「家庭学習の習慣の定着」「学力定着状況の把握」の、各達成基準の達成度が「◎:十分に達成」「○:おおむね達成」と評価したいと思います。

「家庭学習習慣の定着」の「△:達成せず」が気になります。学校側の努力だけでは改善出来ない事があると思いますので、協議会委員でも支援をしたいと思います。

区学力調査目標数値通過率は、4月実施で目標を1.1ポイント上回り、9月再調査では通過率5ポイント増と上方修正した中で全体91.1%(10.0ポイント増)、12月再調査結果92.5%(11.4ポイント増)と達成されました。未達成児童を中心に児童の実態を把握し、個に応じた指導を充実・推進した結果です。また、授業力の向上が図られているのだと思います。

国語・算数の基礎的基本的な学力の定着70.0%以上の児童を85.0%とする目標で、全体90.8%(前年比1.4ポイント増)達成を高く評価したいと思います。様々な方策を実施し今後も90.0%以上の達成を目指して指導される事を期待しています。

反面では、定着70.0%に達していない7.5%の児童(476名中概ね35名)の現況・個々の具体的な問題点等を、もう少し詳しく分析し協議会へ公表して欲しいと思います。

学校では、未達成児童に対してのケア・対策を講じているとは思いますが、早い段階での改善が急務と感じます。子どもの学力等に影響する要因として「家庭・地域の環境」「児童の生活習慣や関心・意欲・態度」「学校の教育指導」等が考えられます。協議会でも対応策等の意見交換が必要な問題だと認識しています。

「家庭学習の習慣の定着」が、86.7%(前年度比1.1ポイント減)なのは懸念を抱きます。前年度は、家庭学習のてびき作成・配布や家庭学習実施状況調査の実施により、保護者の家庭学習への意識が徐々に改善されていたのに残念です。協議会でも要因分析をしたいと思います。

重点的な取組事項－2 望ましい学習・生活習慣の確立

本年度は、「進んで挨拶」「生活習慣の定着」「意欲的な学習」の各達成度が、「◎:十分に達成」「○:おおむね達成」で評価したいと思います。

進んで挨拶する児童が関係者評価で、83.0%(前年度比 9.7 ポイント増)となり、元気に・笑顔で挨拶する姿が多くなった事は素晴らしいです。挨拶運動を通年に変更した事や、毎年継続している事により、児童が挨拶の意味や目的を理解してきているのだと思います。今後もこの取組を継続して下さい。

最近では、防犯効果としても挨拶が重要視されています。犯罪を未然に防ぐ効果があると言われていています。一方全く逆の考え方で、「知らない人には迂闊に挨拶しない方が良い」とする防犯対策もあるようです。指導には共通認識のもとでお願いします。

「生活習慣の定着」では、今年度も早寝が 71.3%と気になりますが、早起き 92.3%、朝食 97.0%、テレビ視聴等(2時間以内)90.2%と前年度より設定項目全てがポイント増となり、少しずつ定着され問題はないように思われます。

児童のスマートフォン利用(所持)が気になります。引き続き、児童の保持率等の調査をして頂きたいと思っています。「加平小学校 SNS 学校ルール」を策定し配布され、学校側では出来る事はしています。

家庭でのスマホ利用(ルール)の考え方には、協議会委員と保護者では世代間ギャップがあると思われるので、協議会としても知識向上を図る為に情報収集をしたいと思っています。

とても便利な反面、有害な情報や危険もたくさん潜んでいます。未成年を狙ったインターネット犯罪が増えています。子供のスマートフォンを親がどこまで管理されているか知りたいです。

重点的な取組事項－3 体力・運動能力の確実な向上

東京都体力・運動能力調査結果が届かず評価が出来なかったのは残念ですが、「体育科の指導技術の向上」「体育的活動の充実」「遊びや運動の日常化」「食育・保健指導の充実」の各取組みの中で、「加平ギネス」「縄跳び大会実施」「ロングの外遊びの実施」等の実施により、体力・能力は向上されていると思われます。東京都体力・運動能力調査の結果に期待が持てます。

足立区は投擲競技が平均より低いとお聞きしました。現在の児童は、全体的に幼児期の身体を動かす遊びが少なく「投げる動作」の発達段階が遅れていると思います。前年度は加平小でもソフトボール投げが課題でしたが、遊びの中でも投げるフォームが定着し上手になっていくので問題ないと考えていましたが、調査結果を見たいと思います。

体力・運動については、個人差が出る分野です。体の成長速度もバラバラなので、同学年の中でも体格差があります。その中で、持久走・縄跳びが自分の設定した目標を全員が達成する事が出来たのは、苦手意識を持った児童にも適切な指導をされているからだと思います。

9歳～11歳は、「ゴールデンエイジ」と呼ばれています。運動神経が良くなる・スポーツが上手くなる為の大切な時期としてよく使われています。スポーツだけでなく楽器等繊細な指使いを必要とされるもの等も当てはまり、何か上達するのにとても重要な時期です。自分が思ったように体を動かせるようになっていたり、ちょっとしたきっかけで、今まで出来なかった事が出来る様になったりします。あまり数値にとらわれる必要はないのかと思います。

重点的な取組事項－4 豊かな心の育成

「自己肯定感の向上」「思いやりの心を育む」「読書や歌に親しみ、豊かな心を育む」と各取組の達成度が全て「◎:十分に達成」された事に評価します。いろいろな方策を考え実施された結果だと思います。引き

続き、心の教育の充実を図って頂きたい。

児童・保護者・地域アンケートで「楽しく学校生活を送っている」児童:95.8%達成(前年度比 3.1 ポイント増)、保護者・地域:98.6%達成(前年度比 5.5 ポイント増)の結果に大いに評価できとても安心しました。保護者とは信頼関係が育まれている事が伺えます。

反面では、楽しく送っていないと思われる児童(4.2%)が気になるところです。次年度も更に児童が増える中で、コメントにもありましたが、「今後も教育活動を工夫し、友達や先生とのかかわり合いを通して、全ての児童が楽しい学校生活であるように努める。」取り組みに期待をしています。

人権メッセージ等人権尊重の取組での、代表児童が都人権メッセージ大会で発表し区最優秀賞を受賞や、音楽朝会実施で合唱団が設立され約70名の児童が参加しているのは、素晴らしいことだと思います。復活加平小合唱団を応援します。

取組事項の一つに個性を伸ばす取組も必要と考えます。コンプレックスの解消につながり、やる気を出させる取組になると思います。

重点的な取組事項ー5 幼・保・小・中の充実

「教員の交流研修」「児童・園児の交流」「小中連携研修」「児童の中学校体験活動」と各取組の達成度が全て「◎:十分に達成」であった事は、園児から児童へ児童から生徒へのスタート時によい結果をもたらすと思います。今度も、より密な連携を期待します。

平成30年度から小学校の学校選択が、原則、学区域に隣接する学校だけになります。近隣幼稚園・保育園及び地域との合同で、催し物(イベント)の開催を協議会でも考えたいと思います。その中で、保護者への小学校入学への準備(良識ある行動)のコンセンサスも必要だと思います。

中学校の学校選択は区内自由ではありますが、住居近くの中学校に通うのが望ましいと考えます。部活優先で選ばれる傾向がありますので、近隣の中学校との連携強化が必須だと思います。

また、中1での生活・素行でのつまずき解消の為に、「中学校体験活動」の回数を増やしてほしいです。

3. 「保護者・地域への期待」について

評価書にも明記されているように、基本的な生活習慣の土台は家庭であり、「躰」「健康管理」「家庭学習」「社会の規範(きまり)を守る」などは家庭の役目です。子供たちに「忍耐強さ」「根気強さ」「自制心」「意欲」「誠実さ」「好奇心」「社会性」「協調性」などの力を育てていく為には、家庭で基盤をつくり、学校で知識や知恵を身につけ、地域で実践していくような連携・協働が必要です。

学校での様々な取組を家庭(保護者)が理解・協力しなければ、効果が上がらない事が多分にあると思います。学校からは色々な方法で取組みを周知していますが、理解不足や認識違いの保護者がいます。時には強いメッセージで発信をして良いと思います。

最低でも、「保護者のための加平小ライフスタンダード」は周知徹底して欲しいと思います。

小学校は児童の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災・保育・地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っています。また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も持っています。学校が持つ多様な機能にも留意し、保護者や地域住民の十分な理解と協力を得て「開かれた学校づくり協議会」で丁寧な議論を行いたいと思います。

東京都の区画整理により、学区域の六町1丁目・4丁目東側は、ほぼ住宅がありません。人通りも少なく児童の安全対応に苦慮しないよう、協議会委員も現場の状況把握に努めたいと思います。

4. その他

本年度も、各取組を実施し目標を達成させるのは大変なご苦勞があったと思います。教職員の皆様には感謝申し上げます。

教職員は業務が多岐にわたります。児童指導に係る業務では「朝の業務」「授業」「授業準備」「学習指導」「成績処理」「児童・生徒指導(集団)」「個別指導(個人)」「クラブ活動」「児童会指導」「学校行事」「学年・学級経営」でしょうか、学校運営に係る業務「学校経営」「会議・打合せ」「事務・報告書作成」「校内研修」、外部対応「保護者・PTA 対応」「地域対応」「行政・関係団体対応」等々の中で、尚突発的な事象の対応もあり、とてもストレスが溜まると思われます。少しでも負担が軽減出来る様に、協議会はもちろん、保護者・地域の方々が協力することがマストです。先生方とより良い関係を築く為にも、先生方との意見交換を行いたいと思います。

今回評価書作成にあたり協議会委員からの学校関係者評価資料の提出が少なかったことに危惧しています。足立区教育委員会の資料では、「開かれた学校づくり」は、学校・家庭・地域の皆様が力を合わせて地域性を活かした特色ある学校活動を進め、新しい時代を切り拓く児童・生徒の「たくましく生き抜く力」や「豊かな心」を育てていく取組です。開かれた学校づくり協議会の目標と機能を、3つの目標(①地域に根ざした特色ある学校づくり②学校支援活動の充実③家庭と地域の教育力の向上)と、5つの機能(①協議機能②評価機能③支援機能④調整機能⑤実施機能)としています。今一度、協議会委員の皆様には、協議会の取組を確認して頂き、加平小学校の教育目標を達成するために、協議会として努力しなければならないと思います。